

インバウンドの「変化の兆し」をいち早く
都道府県別訪日外客数と訪問率
月次指標の早期推計：7月レポート

稲田義久 (APIR 研究統括兼数量経済分析センター長)
松林洋一 (APIR 上席研究員)
野村亮輔 (研究推進部)
古山健大 (調査役)
内容に関するお問い合わせは下記まで
e-mail: nomura-r@apir.or.jp

ポイント

●8月発表データのレビュー：JNTO 訪日外客数

▶JNTO 訪日外客統計によれば(図 1 及び表 2)、東京オリンピック・パラリンピック開催により**7月の訪日外客総数(推計値ベース)は51,100人**となった。前月(9,300人)から大幅増加し、**7カ月ぶりに5万人を上回る水準**。ただし、コロナ禍の影響がない前々年同月比では-98.3%と依然低調である。

▶訪日外客数のトップ5を国・地域別にみると、**米国が6,100人**、**中国が3,900人**、**英国が3,400人**、**フランスが2,500人**、**ドイツが2,200人**で、**欧米からの訪日外客が多い状況**となった。

▶JNTO 訪日外客統計を目的別にみれば(図 2 及び表 3)、**5月の総数(暫定値ベース)は10,035人**であった。コロナ禍の影響がない前々年同月比で見れば-99.6%と大幅な減少。うち、**観光客は1,057人(同-100.0%)**、**商用客は1,323人(同-99.2%)**、**その他客は7,655人(同-95.2%)**であった。

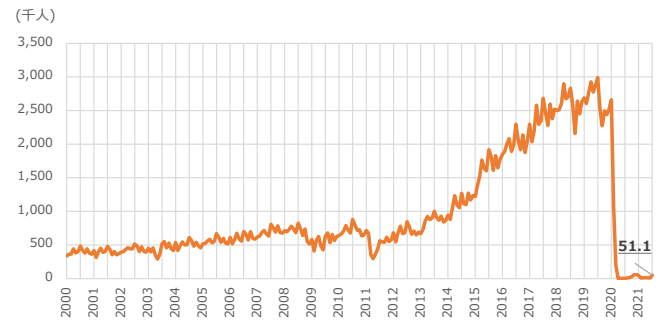
▶目的別国・地域別のトップ5をみれば、5月の**観光客**は**米国が287人**、**中国が92人**、**スペインが54人**、**ドイツが44人**、**韓国が43人**。**商用客**は**中国が222人**、**韓国が122人**、**米国が111人**、**フランスが78人**、**ドイツが69人**。**その他客**は**中国が1,509人**、**韓国が785人**、**フィリピンが581人**、**米国が560人**、**インドが409人**であった。

▶8月の訪日外客数については、東京パラリンピックの開催(8月24日～9月5日)に伴い、引き続き増加が予想される。ただし、大会終了後は再び入国制限措置の影響により、低水準で推移することになる。

▶世界各国のワクチン接種状況(8月17日時点)をみれば、**スペイン(75.0%)は70%を超え**、**英国(69.8%)**、**フランス(69.0%)は70%に近づいている**(図 3)。一方、**イスラエル(67.7%)**や**米国(59.5%)**では、**接種率に横ばいがみられる**。スペインなど欧州の一部観光地では観光客が増加している。ただし、**変異株(デルタ株など)による感染再拡大が起こっているため**、**観光客の本格的な回復には至っていない**。

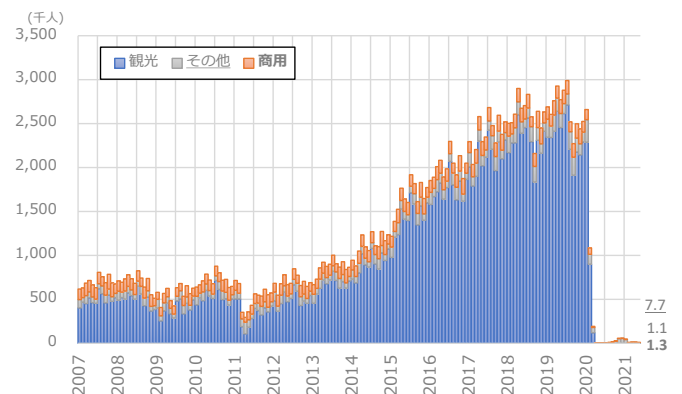
▶**欧米に遅れながらも日本のワクチン接種は加速し、接種率は50.6%**となった。ワクチン接種の進捗に伴い、国内旅行需要の高まりが期待されている。しかし、足下では**デルタ株による感染再拡大(第5波)を受け、新規陽性者数が急増していることから**、**国内旅行需要の急回復は期待しづらい**。

図 1 訪日外客数推移



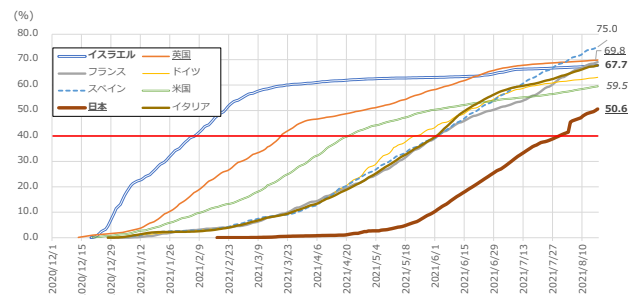
出所:日本政府観光局(JNTO)「訪日外客数」より筆者作成
注) 2020年まで確定値、21年1-5月は暫定値、
21年6-7月は推計値

図 2 目的別訪日外客数推移



出所:日本政府観光局(JNTO)「訪日外客数」より筆者作成
注) 「観光客」とは、短期滞在の入国者から「商用客」を引いた入国外国人で、親族友人訪問を含んでいる。「その他客」とは、観光、商用目的を除く入国外国人で、留学、研修、外交・公用などが含まれる。

図 3 ワクチンの接種状況



出所:Our World In Data より作成(8月17日時点)
注) 1回接種した人の割合

*本レポートで使用している観光庁「訪日外国人消費動向調査」の統計調査が現在行われていないため、2020年11月公表分レポートより内容を一部変更しているにご留意ください。

トピックス 1

● 7月関西の財貨・サービス貿易及び6月のサービス産業動向

▶ 関西 7月の輸出は前年同月比+25.0%と5カ月連続で増加した(前月:同+38.7%)(図4)。品目別にみれば、旺盛なスマートフォンなどの製造需要を受け、前月に引き続き半導体等電子部品の輸出額が単月として過去最高を記録。また、米国、欧州の景気回復に伴い対米、対EU向けの建設用・鉱山用機械が好調であった。輸入は同+17.3%と6カ月連続で増加した(前月:同+20.7%)。結果、関西の貿易収支は+2,712億円と18カ月連続の黒字となった(前年同月比+82.0%)。また、貿易総額(輸出入合計)は同+21.4%となり、7カ月連続のプラスであった(前月:同+30.1%)。

▶ 対中貿易動向をみると(図5)、関西7月の対中輸出は前年同月比+17.0%となった。14カ月連続の増加(前月:同+22.0%)。うち、半導体等電子部品や半導体等製造装置が輸出増に寄与した。また、対中輸入は同+11.9%と2カ月連続で増加した(前月:同+12.7%)。うち、通信機や鉄鋼が輸入増に寄与した。

▶ 7月の関西国際空港(以下、関空)への訪日外客数は2,776人となった。東京オリンピックの参加選手や関係者が入国したこともあり、前月(2,361人)から増加したが、低水準が続く(図6)。伸びはコロナ禍の影響がない前々年同月比-99.6%となり大幅減少が続く。また、同月の日本人出国者数は2,998人で前月(2,518人)から増加したが、伸びは同-99.1%と低位で推移している。なお、同月の羽田空港と成田空港への訪日外客数は東京オリンピック開催に伴いそれぞれ、23,569人、31,820人と前月(羽田:3,890人、成田:10,139人)から大幅増加した。

▶ COVID-19の新規感染者数の増加が落ち着いたこともあり、6月のサービス業は改善した。サービス業の生産活動を示す第3次産業活動指数(季節調整済み:2015年平均=100)をみれば(図7)、6月は97.2で前月比+2.3%上昇した。3カ月ぶりのプラス。また、対面型サービス*業指数も79.2で、同+5.2%と3カ月ぶりのプラス。3度目の緊急事態宣言が6月20日に解除されたことが改善に影響した。4-6月期を前期と比較すれば、第3次産業は-0.6%、対面型サービス業は-1.3%と、いずれも2四半期連続で低下した。

▶ 観光関連指数**(2015年平均=100)は、67.3と前月比+7.0%上昇した(図7)。伸びは3カ月ぶりのプラスに転じた(前月:同-7.6%)。緊急事態宣言の解除を受け、5月の大型連休で落ち込んだ生活娯楽サービス業や宿泊業などが改善した。結果、4-6月期は前期比+0.2%と2四半期ぶりに上昇した。

*対面型サービス業は、運輸業、宿泊業、飲食店、飲食サービス業、その他の生活関連サービス業及び娯楽業を指す。

**観光関連指数は第3次産業活動指数のうち、観光庁「旅行・観光サテライト勘定」の分類に対応する、鉄道旅客運送業、道路旅客運送業、水運旅客運送業、航空旅客運送業、旅客運送業、その他のレンタル、自動車賃貸業、宿泊業、飲食店、飲食サービス業、旅行業、映画館、劇場・興行団の各指数の加重平均。

図4 関西 対世界貿易の推移

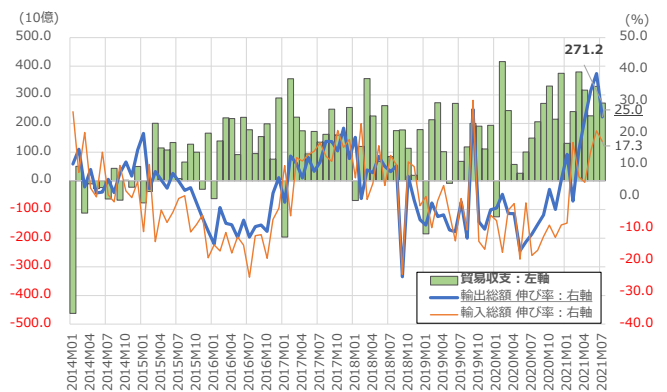
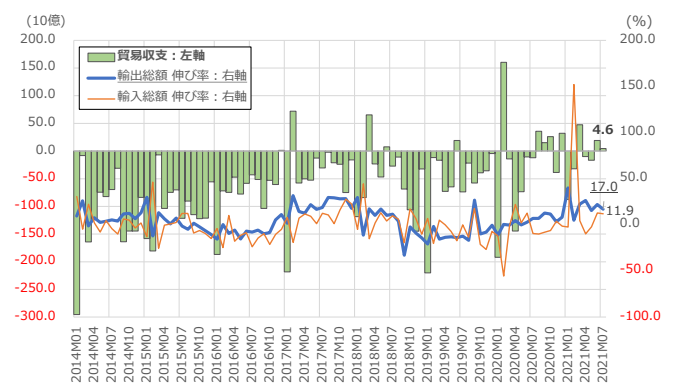
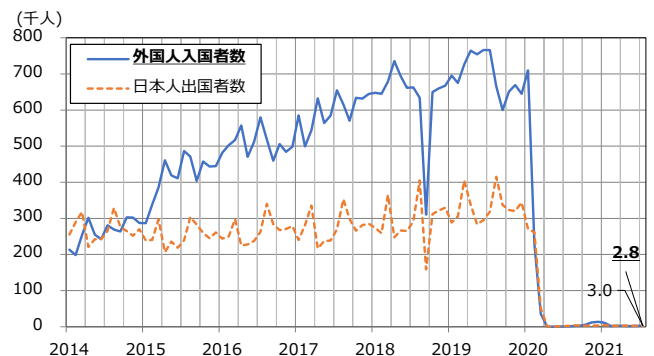


図5 関西 対中貿易の推移



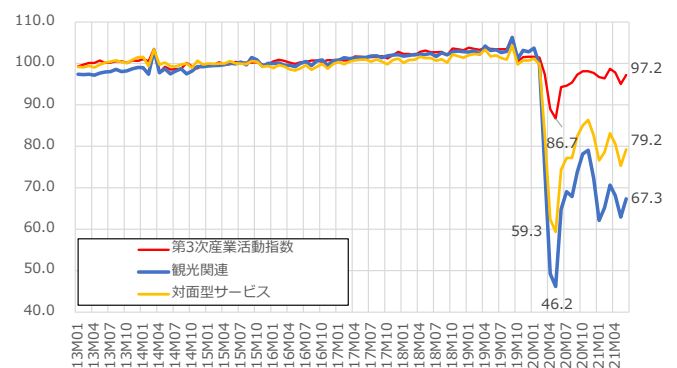
出所:「大阪税関貿易速報資料:近畿圏」より筆者作成

図6 関西国際空港 訪日外客入国者数推移



出所:出入国管理統計より筆者作成。2021年7月値は速報値

図7 観光関連 対面型サービス 第3次産業:2015年=100



出所:経済産業省「第3次産業活動指数」より筆者作成

トピックス 2

●5月延べ宿泊者数の動向：関西2府8県

▶5月の関西2府8県の延べ宿泊者数(全体)は3,056.4千人泊、コロナ禍の影響がない前々年同月(2019年5月)比-72.2%と減少した(表1)。京都府、大阪府、兵庫県に発令された3度目の緊急事態宣言(4月25日~6月20日)の影響で、減少幅は前月(同-66.4%)から拡大した。

▶うち日本人延べ宿泊者数は、3,015.7千人泊であった。前々年同月比-62.6%と前月(同-51.3%)から減少幅が拡大した(表1及び図8)。府県別に延べ宿泊者数を降順にみれば、大阪府が832.4千人泊、京都府が504.4千人泊、兵庫県が460.3千人泊、三重県が318.2千人泊、和歌山県が211.3千人泊、滋賀県が185.1千人泊、鳥取県が163.8千人泊、福井県が148.1千人泊、徳島県が100.2千人泊、奈良県が92.0千人泊であった。

▶うち外国人延べ宿泊者数は、40.7千人泊であった。前々年同月比-98.6%と減少した(前月：同-99.1%) (表1及び図9)。府県別に外国人延べ宿泊者数を降順にみれば、大阪府が22.0千人泊、滋賀県が6.2千人泊、兵庫県が4.3千人泊、京都府が3.8千人泊、鳥取県が1.5千人泊、福井県が0.8千人泊、和歌山県が0.8千人泊、三重県が0.7千人泊、徳島県が0.6千人泊、奈良県が0.3千人泊であった。

▶5月の関西2府8県の延べ宿泊者数を居住地別でみると(図10)、県内の延べ宿泊者数は911.8千人泊(前々年同月比-37.1%)、県外は2,015.8千人泊(同-77.7%)であった。伸びは、3度目の緊急事態宣言の発令により県内、県外ともに前月(県内：同-28.5%、県外：同-71.6%)から減少幅が拡大した。延べ宿泊者数に占めるシェアは、県内が29.8%、県外が66.0%となっている。

▶6月の延べ宿泊者数について、京都府、大阪府、兵庫県に発出されている緊急事態宣言が6月20日まで継続していることから、5月と同様に弱含みで推移することが予想される。

図8 府県別日本人延べ宿泊者数 推移

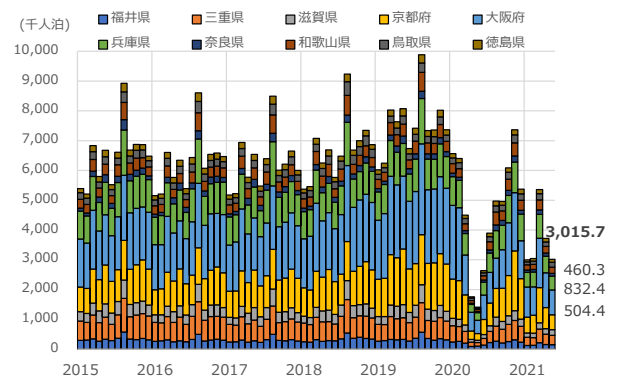


図9 府県別外国人延べ宿泊者数の推移

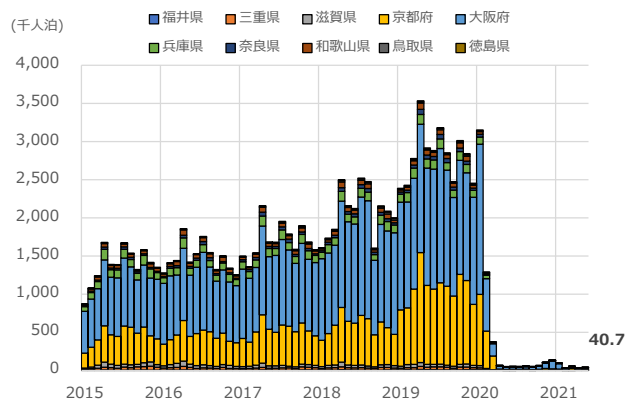
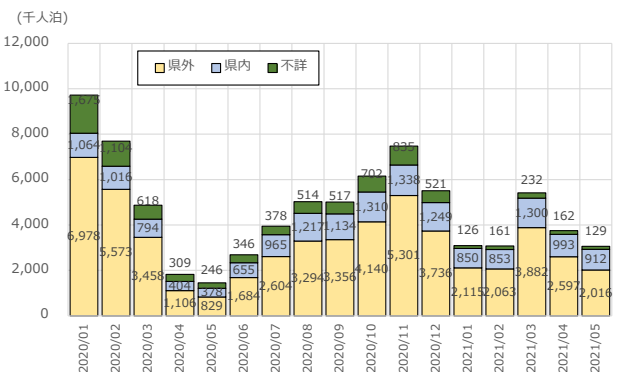


図10 関西 居住地別延べ宿泊者比率の推移



注) 県外の宿泊者には外国人宿泊者も含まれる。

表1 関西 延べ宿泊者数伸び率の推移

2021年5月	総数			日本人			外国人		
	延べ宿泊者数: (千人泊)	伸び率: 20年比(%)	伸び率: 19年比(%)	延べ宿泊者数: (千人泊)	伸び率: 20年比(%)	伸び率: 19年比(%)	延べ宿泊者数: (千人泊)	伸び率: 20年比(%)	伸び率: 19年比(%)
福井県	148.9	48.3	-55.3	148.1	48.2	-54.3	0.8	66.0	-91.4
三重県	318.8	166.2	-58.3	318.2	167.7	-56.5	0.7	-27.8	-98.1
滋賀県	191.3	129.9	-59.9	185.1	125.4	-57.9	6.2	476.9	-83.4
京都府	508.1	121.3	-82.5	504.4	129.4	-73.0	3.8	-61.5	-99.6
大阪府	854.4	76.4	-78.6	832.4	84.5	-66.0	22.0	-33.7	-98.6
兵庫県	464.5	84.9	-61.9	460.3	84.0	-58.2	4.3	290.8	-96.4
奈良県	92.3	147.9	-68.8	92.0	149.8	-62.4	0.3	-24.4	-99.4
和歌山県	212.1	210.6	-55.1	211.3	211.1	-47.7	0.8	108.3	-98.9
鳥取県	165.2	230.5	-42.6	163.8	234.5	-40.1	1.5	40.8	-90.1
徳島県	100.7	205.3	-60.0	100.2	205.3	-58.4	0.6	205.6	-95.2
関西2府4県	2,322.8	101.3	-75.2	2,285.5	106.3	-64.8	37.3	-18.7	-98.7
関西2府8県	3,056.4	109.8	-72.2	3,015.7	114.1	-62.6	40.7	-15.9	-98.6
全国	20,474.1	129.4	-60.2	20,231.9	131.1	-51.5	242.2	42.5	-97.5

出所：観光庁「宿泊旅行統計調査」より筆者作成(図8~10及び表1)

表2 2021年7月 訪日外客数 (JNTO 推計値) (対2019年比)

国・地域	総数 Total			総数 Total		
	2019年	2021年	伸率(%)	2019年	2021年	伸率(%)
	7月	7月		1-7月	1-7月	
総数	2,991,189	51,100	-98.3	19,624,803	147,400	-99.2
総数(韓国・その他除く)	2,311,472	29,200	-98.7	14,479,502	99,400	-99.3
韓国	561,675	1,800	-99.7	4,424,333	10,000	-99.8
中国	1,050,420	3,900	-99.6	5,582,885	26,900	-99.5
台湾	459,216	600	-99.9	2,940,065	3,200	-99.9
香港	216,810	300	-99.9	1,314,699	700	-99.9
タイ	73,202	200	-99.7	756,797	1,600	-99.8
シンガポール	21,716	200	-99.1	235,799	500	-99.8
マレーシア	22,957	200	-99.1	260,886	1,000	-99.6
インドネシア	25,215	400	-98.4	241,088	2,800	-98.8
フィリピン	37,771	500	-98.7	332,891	3,200	-99.0
ベトナム	40,762	400	-99.0	294,009	22,000	-92.5
インド	13,222	400	-97.0	106,162	3,800	-96.4
豪州	34,873	1,600	-95.4	361,779	2,100	-99.4
米国	156,865	6,100	-96.1	1,031,989	11,000	-98.9
カナダ	29,285	1,500	-94.9	213,054	2,000	-99.1
メキシコ	8,661	500	-94.2	40,285	800	-98.0
英国	28,928	3,400	-88.2	214,626	4,600	-97.9
フランス	34,634	2,500	-92.8	194,944	3,800	-98.1
ドイツ	18,593	2,200	-88.2	137,072	3,200	-97.7
イタリア	13,566	1,700	-87.5	88,334	2,200	-97.5
ロシア	9,005	1,200	-86.7	64,945	2,000	-96.9
スペイン	15,771	1,400	-91.1	67,193	2,000	-97.0
中東地域	6,813	1,000	-85.3	52,883	1,500	-97.2
その他	111,229	19,100	-82.8	668,085	36,500	-94.5

表3 2021年5月 目的別訪日外客数 (JNTO 暫定値) (対2019年比)

国・地域	総数 Total			観光客 Tourism			商用客 Business			その他客 Others		
	2019年	2021年	伸率(%)	2019年	2021年	伸率(%)	2019年	2021年	伸率(%)	2019年	2021年	伸率(%)
	5月	5月		5月	5月		5月	5月		5月		
総数	2,773,091	10,035	-99.6	2,455,865	1,057	-100.0	157,585	1,323	-99.2	159,641	7,655	-95.2
韓国	603,394	950	-99.8	552,260	43	-100.0	29,554	122	-99.6	21,580	785	-96.4
中国	756,365	1,823	-99.8	668,757	92	-100.0	32,172	222	-99.3	55,436	1,509	-97.3
台湾	426,537	327	-99.9	407,072	29	-100.0	10,996	32	-99.7	8,469	266	-96.9
香港	189,007	65	-100.0	184,374	9	-100.0	3,388	19	-99.4	1,245	37	-97.0
タイ	107,857	235	-99.8	101,260	25	-100.0	3,604	35	-99.0	2,993	175	-94.2
シンガポール	37,650	37	-99.9	33,775	8	-100.0	3,354	7	-99.8	521	22	-95.8
マレーシア	42,629	146	-99.7	39,431	3	-100.0	2,137	21	-99.0	1,061	122	-88.5
インドネシア	30,107	305	-99.0	25,015	24	-99.9	1,812	25	-98.6	3,280	256	-92.2
フィリピン	59,578	624	-99.0	50,888	32	-99.9	2,864	11	-99.6	5,826	581	-90.0
ベトナム	39,900	425	-98.9	13,809	10	-99.9	3,228	11	-99.7	22,863	404	-98.2
インド	19,914	459	-97.7	9,983	19	-99.8	5,308	31	-99.4	4,623	409	-91.2
豪州	46,223	85	-99.8	41,613	16	-100.0	3,308	19	-99.4	1,302	50	-96.2
米国	156,962	958	-99.4	129,959	287	-99.8	19,722	111	-99.4	7,281	560	-92.3
カナダ	35,335	63	-99.8	31,948	19	-99.9	2,129	9	-99.6	1,258	35	-97.2
メキシコ	5,482	37	-99.3	4,836	10	-99.8	414	12	-97.1	232	15	-93.5
英国	31,642	193	-99.4	24,628	40	-99.8	5,140	57	-98.9	1,874	96	-94.9
フランス	30,863	209	-99.3	24,792	22	-99.9	3,907	78	-98.0	2,164	109	-95.0
ドイツ	21,552	217	-99.0	15,060	44	-99.7	5,340	69	-98.7	1,152	104	-91.0
イタリア	12,463	94	-99.2	9,728	11	-99.9	2,143	34	-98.4	592	49	-91.7
ロシア	9,691	160	-98.3	7,330	24	-99.7	1,638	19	-98.8	723	117	-83.8
スペイン	9,971	158	-98.4	8,580	54	-99.4	913	23	-97.5	478	81	-83.1
中東地域	5,679	85	-98.5	4,167	5	-99.9	1,081	10	-99.1	431	70	-83.8
その他	94,290	2,380	-100.0	66,600	231	-100.0	13,433	346	-100.0	14,257	1,803	-99.9

注) 目的別訪日外客数の定義については、図2 注参照。

出所: 日本政府観光局(JNTO)、2021年8月18日付より筆者加工